

## 子ども避難所マニュアル

### ★目的

子どもが登下校時、公園、遊びの最中などに不審者により被害を受けたとき、受けそうになったときに、助けを求められる家をお願いするものである。

### ★役割

- 1 ステッカーの掲示により子どもが助けを求めやすい目印となり、地域の防犯にも役立つ。
- 2 子どもを通し、地域への交流・連携がより密になり、相互の和が広がる。
- 3 子どもの安心感が強まる。

### 子ども避難所連絡手順

もし、子どもが助けを求めてきたら・・・

次の順番に連絡をしてください。

#### ① 110 番通報

#### ② 児童の通う学校

- 1 子ども避難所の協力者だと告げ、住所・氏名を言う。
- 2 子どもの学年・組・氏名を言う。
- 3 何があったかを言う。

#### ③ 保護者の自宅

- 1 子ども避難所の協力者だと告げ、住所・氏名を言う。
- 2 何があったかを言う。

## ★子どもたちが助けを求めてきたときは

### 1 保護をお願いします。

避難してきた子どもたちは、安全が確認されるまで保護してください。

#### ① まず自分が落ち着いて

子どもたちが避難してきた場合に、皆さんが慌てたり、興奮してしまうと、子どもたちはさらに興奮し、話ができなくなります。まず皆さんが落ち着いて、何があったのか子どもたちから話を聞いてください。

#### ② 次に子どもを落ち着かせて

子どもたちは、怖い思いをし、我慢できず避難してきて興奮しています。子どもたちに「もう大丈夫。すぐにおうちに電話してあげるから」など、優しい言葉をかけて落ち着かせてください。

#### ③ 話を聞く

怪しい人から逃げてきたのか、痴漢にあったのか、などについて確認してください。

《参考例》

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| ・不審な人に声をかけられた       | ・ちかんにあった   |
| ・知らない人に追いかけられた      | ・友達が被害にあった |
| ・知らない人の車に乗せられそうになった |            |

### 2 通報をお願いします。

#### ① 110番・119番

#### ② 学校・家庭

※子どものプライバシーを守るよう配慮をお願いします。